

平成25年度 胎内市教育課程部 活動報告

部長 小林 隆裕

1 研究主題

幼保小中の連携体制の構築に向けた体制づくり～教務主任として取り組むべきこと～

2 研究の実際

(1) 第1回部会 「事業計画の立案・情報交換」

会場 中条小学校 5月14日(火) 15:30～16:30

- ・ 今年度の研究主題を決定した後、以降の予定の確認。

(2) 第2回部会 「各校の幼保小連携に関する取組の紹介・意見交換・情報交換」

会場 中条小学校 8月2日(金) 9:00～11:00

- ・ 各校で取り組んでいる幼保小中の連携についてレポートを持ち寄って意見交換。
- ・ 「Web 配信集計システムに係る研修会」の運営打合せ。

(3) 「Web 配信集計システムに係る研修会」(運営及び参加)

会場 産業文化会館 8月8日(木) 14:00～15:30

- ・ 昨年度に引き続き、「Web 配信集計システムに係る研修会」を教務主任部会で運営。
- ・ 教務主任以外に、各校の研究主任や算数・数学の担当者、学力向上の担当者も参加。
- ・ 指導者の県教育庁下越教育事務所学校支援第2課 指導主事 高橋哲衛様から、システムの有効な活用方法について、県の学力実態、授業改善の進め方、過去の問題や解説・サポート問題等の有効活用の仕方等、具体的にご指導をいただいた。

(4) 第3回部会 「各校の幼保小連携に関する取組の進捗状況」

「今年度部会の活動の成果と課題」

会場 中条小学校 11月12日(火) 15:30～16:30

- ・ 各校の取組の進捗状況及び今年度末までの予定に関して発表と質疑・協議。
- ・ 今年度の取組に関する課題や成果を踏まえて、次年度の方向性についての意見交換。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 普段はなかなか知ることができない他校や他の中学校区の具体的な取組や連携体制を紹介し合う貴重な機会とすることができた。4つの中学校区のうち、3つが「1小1中」であり、1つの園からほぼ同じ顔ぶれで入学してくるという実状を活かした連携の取組が数多く紹介され、自校や中学校区の教育活動に活用できそうなヒントを得ることができた。
- ・ 小学校中学校間では、お互いの学校を訪問してのあいさつ運動、時期をそろえての家庭学習強調週間、出前授業、合同の学力向上研修、9年間で身に付けさせたい力の共通理解等、同一歩調で進める取組が多く紹介された。
- ・ 幼稚園、保育園との連携活動は、入学時の円滑な連携を目的とした交流体験活動や情報交換が中心となっている。また、非常災害時における保護者への引き渡し訓練を、保育園と連携して合同で行っている小学校もある。三年次計画で様々な場面を想定しての訓練を実施しており、先進的な取組として注目されている。

(2) 課題

- ・ 胎内市の教育振興基本計画では、保護者、地域と連携して行う教育活動を重視している。教務主任が集まる部会として、教科領域を横断する教育課題の解決を目指し、市内各校に様々なプランを策定・提案していく活動も必要ではないか、という意見が出された。例として「胎内市版情報モラル年間指導計画」や「保護者・地域と連携した幼保小中による避難訓練計画」の策定、胎内市版「学習のてびき」「家庭学習のてびき」の作成が挙げられた。